



毎日 作業 頑張っています！

普段は、ワコーさんから委託していただいている、内職作業を行っています。A班は主に、スポンジや軽石の袋入れ、B班は大袋入れから梱包作業までの工程を行っています。各々で自分の力を発揮できるお手伝いをしてくださっています！

B班



A班



ウイズ 通信

NO.30号
令和4年8月号

年間目標

「なかよくしよう」



9月の活動内容

- 【日常生活支援学習】
トイレマナー
- 【創作活動】
ちぎり絵でお月見うさぎ
- 【運動レクリエーション】
わなげ
- 【室内レクリエーション】
魚釣りゲーム・かるた

製品づくり

午後の活動では、個々の特性や特技を生かしての製品づくりを行っています。皆さんの力を借りてできた商品は、市役所の授産品販売などで販売しています。



学習支援

学習支援では、学習プリントをはじめ、パスルや絵合わせカードなど、お一人おひとりに合わせた学習を行っています。



今月の給食

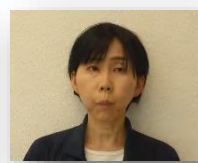


【季節メニュー】

- ・冷やし中華
- ・枝豆シューマイ
野菜添え
- ・ご飯

- ・フランクカレーコロッケ
野菜添え
- ・ウインナー炒め煮
- ・みそ汁
- ・ご飯
- ・漬物

職員紹介

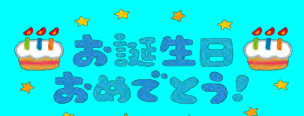


8月よりウイズで勤務させていただきます。早く仕事内容を覚えて頑張りますので、宜しくお願いします。

6月からウイズで勤務させていただきます。皆さんと一緒に頑張りますので、宜しくお願いします。

8月の誕生日

谷野 文啓さん
平岡 拓磨さん
山下 翔誠さん



研修報告

研修名：アサーティブコミュニケーション研修

日時：令和4年8月17日(水)

研修受講者：福田 美佐

アサーティブコミュニケーションとは相手の気持ちを尊重しつつ、自分の意見も率直に主張し、自分にとっても相手にとっても快適なコミュニケーションをとりながら自己主張する手法です。

アサーティブコミュニケーションをとる為には、①自分にも相手にも嘘をつかず自分自身に誠実であること。②意見を主張する際に遠回しな表現をせず率直に伝えること。③相手を下に見て威圧的な態度をとったり、目上の相手だからとオドオドせずに堂々と対等に振る舞うこと。④自分が意見を主張したこと、あるいはしなかったことで生じた結果について責任を持つ自己責任。この4つが大切です。

アサーティブなコミュニケーションがとれていない人には3つのタイプがあります。

- ・攻撃的…自分の欲求を感情的や高圧的な態度で押し付けがちで、相手への配慮が出来ていない。
- ・受動的…対立を恐れるあまり自分の意見が主張できず、曖昧な表現をして周囲を苛立たせる。
- ・作為的…周囲の人を巻き込んだり、陰で悪口を言ったりして、表立った対立を避けて裏で手を回す。

誰しもがこの3つのタイプに何かしら当てはまる場所があると思います。この3つのタイプが決して悪いという事ではありませんが、アサーティブなコミュニケーションがとれるようになると、人間関係のストレスが減り、自分に自信を持って他者と接することが出来るようになり、より良い関係性が築けます。

私自身もアサーティブなコミュニケーションがとれず、状況によっては3つのタイプで自己主張してしまった事もあります。アサーティブコミュニケーションがとれるようになるには性格を変える必要は無く、トレーニングすれば誰でも身に付けることが出来るので、今回この研修で学んだアサーショントレーニングを取り入れ、利用者様、利用者ご家族様、職場でのより良い関係性を築いていきたいと思っています。

～災害に対するご家庭での備えについて～

さて、「9月1日」は、1923年に関東大震災が発生した日であり、当時の被害を忘れず災害に対しての備えを怠らないよう、1960年より「防災の日」と制定されました。

なお、この時期は台風が発生しやすいことも制定された理由の一つと言われています。

また、8月30日～9月5日の一週間は「防災週間」として、各市町村において防災関連の行事が行われています。

事業所においては、非常災害に備えるため、①緊急時の体制（連絡体制、避難誘導體制等）、②避難経路、避難場所等の確保、③市町村や医療機関との協力・連絡体制を整備する必要があり、職員全体で防災対策の確立や意識の醸成を高めていくことが求められます。

昨今各地で発生している地震や集中豪雨では、多くの人々が被害に見舞われており、いつ、どこで災害が発生するか分かりません。

事業所では非常食などを備蓄しておりますが、この度、防災週間の期間に合わせて別紙「非常持ち出し品・非常備蓄品チェックリスト」を配布いたしますので、是非この機会にご参考にして頂ければと存じます。